



性教育における助産師の活用について（平成 19 年 12 月定例会）

思春期の子ども達を取り巻く環境は、性成熟の低年齢化が進行し、それに伴う 10 代の望まない妊娠や人工妊娠中絶、性感染症などが社会問題化してきており、今や中高生への性教育は待ったなしの状況です。助産師による中高生への性教育は、一人でも多くの子ども達に正しい知識や情報を提供し、思春期の健全な育成に効果的だと思いますが、ご所見をお聞かせください。

【藤井教育長答弁】

助産師による実体験に基づいた講演等は、児童生徒の心に直接響く内容であるなど、大きな教育効果を上げているものと考えています。

今後とも、各学校における性教育の取組体制の充実を図り、とりわけ、思春期において正しい知識とその情報を提供するため、助産師等の参画を得て、効果的な性教育となりますように、県立学校と市町教委に対し、積極的に働きかけてまいります。